



松庵だより

第714号 1月号

令和8年 1月8日

杉並区立松庵小学校



「飛躍の一年へ」

校長

新年あけましておめでとうございます。新しい一年を迎えました。本年の干支は「午」です。古くから馬は、俊敏さや力強さ、そして人との深い結びつきを象徴する動物として親しまれてきました。「駿馬に鞭打つ」という言葉がありますが、この言葉には、すでに優れた力をもつ者がさらに成長するよう励ますという意味があります。子供たちがもつ可能性はまさに駿馬のように豊かで、適切な励ましや環境があれば、驚くほどの伸びを見せてくれます。私たち教職員も、一人ひとりの力を引き出すために、日々の教育活動を丁寧に積み重ねてまいります。

また、「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」ということわざがあります。実際に体験してみなければ分からぬことがある、という教えです。子供たちにとって、学びや挑戦はまさに“乗ってみる”ことの連続です。成功も失敗も含めた経験が、心の強さや思考の柔軟さを育みます。そのためには、学校だけでなく、家庭や地域の皆様の温かな支えが欠かせません。

松庵小学校には、学校支援本部「あんこ応援団」をはじめ、保護者・地域の皆様による日常的なご支援があります。今年度も、これまで多くの方々に学びの機会を創出させていただいている。日頃より子どもたちを見守り、励まし、共に歩んでくださる皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

午年は、勢いよく駆け抜けるイメージに満ちた一年ですが、子供たち一人ひとりが、自分の歩幅で前へ進み、時には立ち止まりながらも、確かな成長を積み重ねていけるよう、教職員一同、力を合わせて支えてまいります。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

「道徳地区公開講座を終えて」

道徳教育担当

12月6日（土）に道徳授業地区公開講座を実施しました。道徳授業地区公開講座は、学校で実践している道徳授業をご参観いただき、道徳教育への理解を深めていただくとともに、意見交換会等を通して学校・家庭・地域社会が一体となって道徳教育を推進していくことを目的として実施しております。当日は、1・2校時には全ての学級で「人とのかかわり」について考える内容の授業を行いました。それを受け、3校時の講演会では「多様性を認め合うということ」をテーマとして、杉並区立桃井第一小学校校長の高橋浩平先生にお話をいただきました。

高橋先生の講演では、特別支援の視点から、学校や家庭で困り感を抱えている子供たちへの寄り添い方のヒントをたくさん教えていただきました。具体的には、言葉をコミュニケーションツールと捉え、指示、命令ではなく、傾聴、同感、提案の言葉を使っていくことが大切ということでした。私たち大人が接し方や考え方を変えることで、子供の心に今以上に寄り添い、未来に向けて成長させることができると話されていました。

保護者の皆様も、私たち教員も、日頃から目の前の子供たちとの関わり方を少し変えてみませんか。新しい一面に気付けるかもしれません。今回テーマとなった人との関わりについて、今後家族の団らんの中で話題に上がると幸いです。